

【規格】

種類	厚み (mm)	幅 (mm)	巻き姿 (m)
木目・抽象柄	0.13, 0.14, 0.16	950	250
パールフィニッシュ	0.13, 0.16		
メタリック	0.15		
単色 (標準仕様)	0.15		
単色 (平貼り用)	0.08		500
単色 (レザー)	0.18		200
エッジテープ	0.5	10～	100乱巻

※木目横柄以外は全てエッジテープをご用意しております。

※エッジテープの厚みは代表的なものの数値です。

※NE20402 ネオ・アークミストは4尺のみの対応となっております。

※抗菌仕様は3尺・4尺に対応しております。

(対応品：1949-522 ラボ・ミディウムパーチ抗菌/2003-521 ラボ・ナイーブホワイト抗菌/2046-521 ラボ・セプリナライト抗菌/2067-521 ラボ・オディール抗菌/2083-521 ラボ・ドルファティエーガ抗菌/2270-521 ラボ・フランクリア抗菌)

【性能表】

試験項目	試験方法	試験結果
耐摩耗性	JAS合板規格 摩耗A試験準拠。研磨紙：S-42を使用し500gの荷重をかけ、柄消失が50%に達した時の回転値、及び摩耗量を算出基準により求める。	回転値 100回以上 摩耗量 0.1g以下
耐スクラッチ性 (耐擦傷性)	社内規格 鉛筆硬度JIS K-5600参考。荷重：500g。評価方法：凝集破壊	2B程度
エンボス堅牢度	社内規格 100℃±5℃のグリセリン中に30秒間浸漬、直後に水洗する。	著しい絞戻りなし
耐溶剤性	社内規格 石油ベンジン/ラッカーシンナー/95%エタノール 各々を脱脂綿に含ませ、荷重500gで20往復拭く。	著しい変化 (艶変化) なし
耐汚染性	JAS合板規格 A試験準拠。事務用青インキ/赤色クレヨン/黒色マジックで線を引き、4時間放置後、溶剤又は洗剤を布に含ませ拭き取る。	著しい汚染なし
耐薬品性	社内規格 2%水酸化ナトリウム水溶液/5%酢酸水溶液/石油ベンジンを滴下し、6時間放置後に水洗いする。	著しい変化 (艶変化) なし
耐候性	JIS K-5600-7-7準拠。キセノンアーク・ウエザオメーターにて2000時間照射。	著しい外観変化なし
耐熱性	社内規格 60℃±5℃中に48時間放置。	著しい変化なし
耐水性	JAS合板規格 耐水B試験準拠。60℃±3℃の温水に1時間浸漬後、60℃±3℃で2時間乾燥。2回繰り返し室温になるまで放置する。	著しい変化なし
寒熱繰り返し	JAS合板規格 寒熱繰り返し試験C試験準拠。60℃±3℃恒温槽中に2時間放置後、-20℃±3℃恒温槽に2時間放置を2回繰り返し、室温になるまで放置する。	著しい変化なし

※上記結果は、弊社試験結果の代表的なものを表記しております。

仕様、配色、柄、艶、テクスチャー等の違いによって、データが異なることがあります。

【使用上の留意点】

- 家具/住宅内装建材向けに品質設計されています。サッシ枠等の直射日光が連続照射される部位には適しませんのでご注意ください。
- 各種木質系基材 (合板/MDF/パーティクルボード等) へのラミネート及びラッピングが可能です。
- 使用する基材により、表面の見え方 (色調) に影響がでる場合がありますのでご注意ください。
- 加工条件の設定など、ご使用に際して不明な点はお問い合わせください。

【補修・メンテナンス】

製造加工・施工時に発生する艶変化や擦り傷に対して、市販の補修材料を用いた補修が可能です。主な補修方法について記載します。

症状	補修方法	
汚れ	泥、ほこり、調味料など	・濡れぞうきん、または中性洗剤で軽く拭き取ってください。
	マジックインキ クレヨン など	・中性洗剤や溶剤で軽く拭き取ってください。 ・塗布し過ぎや、強く擦ると艶変化を起こす恐れがありますので注意が必要です。
	接着剤、塗料など	・汚染物が広がらないように注意しながら、乾かないうちに手早く拭き取ってください。 ・すぐに中性洗剤、溶剤で軽く拭き取ってください。 ・艶ムラを生じた場合には、エコスター (商品名) などの艶調整用塗料にて補修してください。
傷	艶ムラ	・エコスター (商品名) などの艶調整用塗料を補修箇所周囲に良く馴染むように塗布してください。
	白化、色落ち	・同系色の補修ペン[プロマークII (商品名)、ECOタッチアップマーカー (商品名)]を塗り、指などで軽くぼかします。
	浅い傷 (小さな穴、へこみ)	1. 同系色のパッチャルペンシル (商品名) を補修箇所に充填し、ヘラ等で表面を平らにします。 2. エコスター (商品名) などの艶調整用塗料を補修箇所に良く馴染むよう塗布してください。
深い傷 (大きな穴、裂傷)	1. 同系色のハードワックス (商品名) を補修用コテ [ホットナイフB2006 (商品名) 等] で溶かし補修箇所に充填し、ヘラ等で表面を平らにします。 2. 補修ペン[ブラッシュペン (商品名)等]にて補修箇所の木目切れを補います。 3. エコスター (商品名) などの艶調整用塗料を補修箇所によく馴染むように塗布してください。	

(注) 表記の項目は、株式会社キャンディルデザイン ハウスボックス事業本部 (TEL:03-3737-1421 URL:<http://www.house-box.co.jp/>) 製の補修材における補修方法の一例です。補修方法や補修材に関するお問い合わせは上記連絡先、又は弊社担当営業までお願い申し上げます。仕様、配色、柄、艶、テクスチャー等の違いによってメンテナンスが困難な場合があります。シート補修部分の性能は、シート本来の性能とは異なりますので、予めご了承願います。